

海老名市立大谷小学校 学校運営協議会 議事録
(令和6年度 第1回)

- 1 日時 令和6年5月13日(月) 9:00～10:00
- 2 場所 海老名市立大谷小学校 校長室
- 3 出席委員 石井 正雄委員長、藤澤 ゆかり委員、今別府 淳子委員、桐生 行雄委員、吹越 真佐美委員、鈴木 竜也委員、島仲 京子校長、岩上 克成教頭、岩瀬 歩総括教諭

4 会議の内容

(1) 学校長挨拶

島仲校長：中学校区の共通の学校目標から今年度よりめざす子ども像「追究する子」、「創造する子」、「協働する子」の3つを示し、行事をはじめ活動を見直している。その中で地域の力をお借りして共に育っていききたい。

(2) 委嘱状交付

委員の方々に委嘱状交付

(3) 年間予定について

島仲校長：「追究する子」の柱として、今年から国語を校内研究とする。すべての学びの土台として取り組み、自分の言葉で語れる子を目指す。また「外国語推進校」は大谷中学校区3校の取り組みで、英語だけではなく教科横断的な視点、9年間の学びの系統性を視점에全職員で取り組む。「創造する子」、「協働する子」として生活科・総合を中心に地域で学ぶようにしていく。

鈴木委員：子どもが取り組んでいる宿題の自主学習もめざす子ども像のどこかと関係あるのか。

島仲校長：「追究する子」の「生きて働く知識・技能」、「失敗を恐れず挑戦する子」に深く関わっている。

藤澤委員：運動会で表現は力入れているが、競技は縮小傾向にあるように思う。運動会では活躍できるという場があってもいいのではないか。また、競技は運動会の中で盛り上がる種目である。

島仲校長：運動会の目当てでいくと徒競走のような競技はねらいに沿わない部分がある。エンタリー性にする、運動会の目当てそのものをまちの人を楽しませるというようなものに見直す等考え直してもよいかもしれない。

桐生委員：地域連携の点で、低学年は地域の人にお世話になる、高学年は学んだことを地域に返すというように、発達段階に合わせて双方向でいくとよい。

吹越委員：年間計画を見ると、昔遊びが例年通り 1 月にあるが、昨年度の反省から 1 回限りでは時間が短く、満足に遊ぶことができない。できれば期間をわけて取り組みたい。

（４）PTA の現状について

鈴木委員：PTA の任意加入にあたり、意思確認の方法を見直す経緯の中で課題に挙げた現在の登校班をどのようにしていくかについて取り組んでいる。

6 月にはお試し自由登校を行ってアンケートをとる。PTA の在り方は社会の流れからも検討すべき課題である。

桐生委員：一番に考えなければいけないのは子どものこと。登校班においても、子どもを中心に考えて立哨をどうするか考え、自治会とも連携していてもよいと思う。

（５）その他

次回の、学校運営協議会は、令和 6 年 11 月 11 日（月）9:00 から開催予定。